

《議会による》

新庁舎建設に関する調査特別委員会

【令和2年12月議会で設置 これまで6回開催】

現在までの動き

- 基本構想策定関連予算 2407万円 可決
- 新庁舎建設推進課設置 条例可決

市ホームページに委員会の調査内容、会議録を掲載しています。



調査結果

【庁舎を建て替える必要性は何か】

各庁舎建築後50年以上経過しており、別館等の増築や改修工事を行い耐震補強工事を行ってきたが、機能面での課題が多い。

- ・車いすでの移動が難しく、子ども連れの来庁者などへのニーズに対して不十分である。
- ・相談や打ち合わせのスペースが限られ、来庁者のプライバシーの確保が難しい。
- ・パソコン等のコンセントや配線が床上にあり、漏電や転倒の危険性がある。
- ・書庫や物品の保管スペースが少なく、トイレや洗面所も狭い。
- ・駐車場の確保が難しい。

【新庁舎の建設規模は】

職員数350人収容、延床面積7,000平方メートル程度、建設費用約40億円を見込んでいる。

【建設時期を前倒しするのはなぜか】

建設の財源として有利な合併推進債を借り入れるためには、令和4年度までに実施設計に着手する必要があり、当初予定より2ヶ年前倒しとなった。このことにより、令和10年度移転予定が令和8年度移転となる。

【新庁舎建設のための基金状況は】

積立額 約8億円（R3.3.1現在）
※毎年1億円以上の基金積立を目標としている。

【支所機能の確保をどのように考えるか】

市民サービスの低下とならないよう、基本構想作成の中で検討する。



額娃支所



川辺支所

【庁舎建設の予定地は】

庁舎建設等市民検討委員会からの提言なども参考に、知覧農業振興センターを予定地と考えている。



建設予定地付近

【合併推進債を使った場合と使わない場合はどう違うか】

・使った場合の財源

国（交付税額 約14億円）	市 約26億円
---------------	---------

・使わない場合の財源

市 約40億円

【市民の声をどのように反映させる考えか】

新庁舎建設検討委員会の設置、市民アンケート、市民説明会を実施する。

【今後の調査予定】

他市の庁舎建設の状況等について調査する。